

令和4年度 事業計画

■基本的な考え方

老人クラブは地域における高齢者の自主的な組織として、「健康・友愛・奉仕」という3つのスローガンを掲げ、高齢期を楽しく、生きがいをもって暮らしていくために、身近な仲間と支え合いながら住みよい地域づくりを進めてきました。

しかし、近年は、ライフスタイルの多様化などにより、新たにクラブに加入する高齢者が減少し、活動の中核となる若手会員が不足するとともに、クラブをけん引する役員のなり手不足などによりクラブの解散や会員の減少が続いています。

一方で、急速な少子高齢化や核家族化の進行などにより、地域を支える若い世代が減少することで高齢者の役割がこれまで以上に増すとともに、1人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が増加しており、支え合いなど地域活動の必要性は一層高まっています。

特に、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況のなかで、外出の自粛などにより、孤立やフレイル（虚弱）などが懸念されており、地域に活動基盤をおき、健康づくりや訪問活動に取り組むクラブの存在意義は、大きいものがあります。

また、クラブで日頃行っているスポーツや趣味などの活動は、認知症予防や介護予防に効果があるとされています。

このため、引き続き新たな会員の加入促進やこれからクラブを担う役員の確保に取り組むとともに、若手や女性のパワーを活かして組織の活性化を図っていきます。

さらに、これまでの活動経験をもとに、行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、高齢者の暮らしやすい地域づくり活動への参画を目指していきます。

■重点的な取り組み

1 新たな会員の加入や役員のなり手の確保を推進しよう！

単位老人クラブの解散や新たな会員の加入が少ないことから、会員数の減少が続いており、大変厳しい状況にありますが、地域の高齢者に積極的に加入を勧める声かけをすることで、会員数が増加したクラブもあります。

新型コロナウイルス感染症のため、様々な事業の中止や縮小が続き、体験参加の声掛けもなかなかできない状況ですが、会員は、クラブ活動の基盤となるものであり、新規会員の加入を目指すとともに、解散クラブ防止と新規クラブの立ち上げに取り組み、会員確保を推進していきます。

2 コロナ禍でも元気に過ごせるよう、健康づくりを推進していこう！

人生100年時代を迎え、健康寿命をのび生き生きと楽しい生活が送れるように健康づくりに関する地域での実践、スポーツを通じた健康づくりを推進します。

新型コロナウイルス感染症による外出自粛のため、心身の衰えが懸念される中、密閉・

密集・密接を避け、マスクの着用や手指消毒の徹底などの感染予防に留意しながら事業を実施することで会員の健康の保持・増進に取り組むクラブの情報を提供するなど、継続的なクラブ活動の推進に努めます。

3 子どもの健全育成や高齢者の見守り活動などの地域支え合い事業を推進しよう！

老人クラブの組織力を活かし、子どもとの交流機会を持ち、一緒になって地域の伝統文化活動や昔遊び、自然体験などを行うことで、子どもの健全な成長に寄与するとともに、会員も童心にかえりワクワクする楽しい時間を過ごせ健康づくりにも役立つことから、子どもとの交流活動を推進します。

また、家に閉じこもりがちな1人暮らし高齢者などへの声掛けや訪問活動、楽しく会話ができる場づくりなどを行い、住み慣れた地域で皆が生きがいを持って安心して暮らせるよう地域支え合い事業に取り組みます。

4 若手高齢者の加入促進とニーズに合った取り組みをしよう！

若手高齢者には、これからの老人クラブ活動の重要な担い手となることが期待されています。

このため、若手高齢者の加入促進につながるるとともにクラブ活動の活性化を図れるよう若手高齢者のニーズに合ったスポーツ大会や文化活動等の開催を支援していきます。

5 若手・女性委員の活動の場を一層広げよう！

若手委員と女性委員の活動による会員相互の交流や新たな会員の加入を促進するために、若手委員等の企画力と運営力の向上に取り組みます。

会員が、踊りなどの日頃の練習の成果を発表する貴重な場でもある元気ハツラツ&はちきん大会は、若手委員と女性委員が共同で企画、準備、運営までを自主的にを行い、地域におけるイベント開催に必要なノウハウの向上を図ります。

またパワーアップ研修会は、開催地の若手リーダーを中心に企画、運営し、老人クラブ活動の基盤となる人材を育てていきます。

■事業の推進

1 地域支え合いの推進 (2,357→2,318千円 △39千円)

地域に密着した高齢者組織のネットワークを活かし、1人暮らしや高齢者世帯など閉じこもりがちな高齢者に情報を届けるなどの友愛活動を進めるとともに、子どもの見守りや、環境美化活動を推進し、地域の高齢者の暮らしを支える取り組みを進める。

(1) 地域支え合い事業の実施

① 3市町村老連で実施

② 1市町村老連当たり 30,000円以内

(2) 高知県老人クラブ大会の開催

2 健康づくり・介護予防の支援 (5,479→4,941 千円 △538 千円)

人生 100 年時代を迎え、健康寿命をのばし生き生きとした生活が送れるように、健康づくりに関する地域での実践、スポーツを通じた健康づくりを推進する。

(1) 健康づくりリーダー研修の実施

健康づくりリーダーの介護予防・フレイル予防の知識や健康づくりに関する知識を高め、会員の健康づくりへの意識の向上に役立てるとともに、新たな健康づくりリーダーの確保を図る。

(2) 健康づくりリーダー養成事業の実施

健康づくりや介護予防などにおいて、他の市町村老連の先進例となる活動に取り組む市町村老連を指定し、その活動を他の市町村老連に周知することにより健康づくりリーダーの養成を推進する。

①3 市町村老連

②1 市町村老連あたり：50,000 円以内

(3) ろうれんピックの開催

誰もが楽しめるスポーツを通して、交流の輪を広げ、健康と生きがいづくりを推進する。

①開催場所

3 会場（西部、中部、東部）

3 若手高齢者・女性会員による老人クラブ活動の活性化 (5,667→5,774 千円 107 千円)

(1) 若手・女性活動促進モデル事業の実施

若手や女性会員のニーズの高い事業を実施し、老人クラブ会員増強と活動の活性化を図る。

①5 市町村老連で実施

②1 市町村老連当たり 30,000 円以内

(2) 若手高齢者広域スポーツ等交流会の開催

市町村若手委員会の主催による交流会を開催することにより、企画力と指導力を育成するとともに、広域に参加を呼びかけることで、相互の交流と会員増を図る。

①実施主体：2 市町村老連

②1 市町村老連当たり 80,000 円以内

(3) 元気ハツラツ&はちきん大会の開催

若手委員と女性委員が共同で企画から運営までを担い、イベントの企画力や運営力の向上を図るとともに、会員の交流と新たな仲間の勧誘・活動の場として開催する。

(4) 会員増クラブに対する活動費の助成

会員が5人以上増えたクラブに対して活動費を助成する。

- ① 単位老人クラブ当たり：10,000円以内
- ② 助成クラブ数 10単位クラブ
- ③ 市町村老連経由で協議書提出

(5) 会員パワーアップ研修会の開催

開催地の若手リーダーを中心に企画、運営し、新規会員の加入やクラブの活性化に繋がるよう今話題になっているスポーツなどによる楽しいクラブの作り方を学ぶ。

① 対象者

市町村老連会長、単老会長はじめ役員、女性・若手委員、将来リーダーとして期待される会員

② 開催箇所数

3か所

(6) 女性委員会と市町村老連女性委員会交流事業

県老連の女性委員会が市町村の女性委員会と交流会を持ち、市町村老連の活性化につなげていく。

4 老人クラブ活動の支援 (2,331→2,209 千円 △122 千円)

複数の市町村老連が協力して自主的に行う多様な活動に対し助成することにより、地域の実情に応じた会員が楽しめる事業を行うとともに、活力あるクラブづくりを支援する。

(1) 老人クラブ活動支援事業の実施

- ① 広域支援事業（ブロック別芸能大会、体育大会など）に助成：222千円

5 老人クラブ活動の情報提供と啓発 (5,112→5,213 千円 101 千円)

(1) 広報活動の推進

- ① ホームページでの活動状況の紹介
- ② 機関紙の発行

(2) ブロック別会長・事務担当者会

- ① 6ブロックで開催
- ② クラブ運営の課題や今後の新規会員の加入やクラブの解散防止について協議

6 法人事業及び管理運営 (3,613→3,465 千円 △148 千円)

(1) 理事会・評議員会・正副会長会の開催

(2) 全国老人クラブ大会（東京都）、中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会（岡山県）等への参加と情報収集

(3) 社会参加活動等の推進

① 「老人の日・老人週間」の推進

② 高齢者交通事故防止活動や高齢消費者被害防止の推進

(4) 老人クラブ傷害保険・賠償責任保険、会員章の普及促進

① 傷害保険・賠償責任保険の積極的な加入促進活動を！

会員のクラブ活動や日常生活の万が一のけがなどに備えるため、積極的に加入促進に努める。

② 会員章の普及

全国共通の“仲間のしるし”であり、老人クラブの輪をさらに広げるため多くの会員への普及を目指す。

(5) 会長・事務担当者会の開催

令和4年度予算及び事業の内容の説明